

日本老人看護学会 設立趣意書

超高齢社会の 21 世紀にむけて、高齢化対策が緊急に進められてきました。それは急速に増大した高年者介護のニーズに対応するために、ケア体系の改革とケアワーカーの確保に追われてきたのが実情です。しかし、高齢者の立場に立った、そして、総合的な健康アセスメントに基づく統合的なケアの視点からの老人看護学の確立は立ち遅れております。また、今後の高齢化対策の一番のポイントは、在宅、施設、医療機関において老人のニーズに対応したケアコーディネーター等の高度な機能を担う看護専門職をいかに育成していくかです。そのためにも老人看護の理論的整備を急がなければなりません。老人看護学はきわめて人間学的学問であると考えます。したがって、我が国の歴史的経緯の中で日本の文化や社会制度を背景に行われてきたこれまでの老人看護の経験とその問題点を整理し、さらに発展させるべく努力を結集していきたいと考えます。そのための組織として、この度ここに、日本老人看護学会を設立することになりました。

本学会設立の趣旨にご賛同いただき、ご入会くださるようお願いいたします。

平成 7 年 7 月 15 日

日本老人看護学会設立発起人

太田喜久子 野口美和子

高崎 絹子 水野 敏子

中島紀恵子 南澤 汎美

沼本 教子 山幡 信子